

鳩山町地域エネルギービジョンを策定



平成 26 年 4 月に総合福祉センターへ導入した太陽熱を利用した浴室給湯システム

地域エネルギービジョンの目標

『二酸化炭素(CO₂)排出量の削減』

<目標値(基準値=平成22年積算値55,100t-CO₂)>

| 目標年次 | 基準値に対する削減率(目標値) |
|-------------|-------------------------------|
| 2020(平成32)年 | 5%(2,755t-CO ₂) |
| 2030(平成42)年 | 20%(11,020t-CO ₂) |
| 2040(平成52)年 | 30%(16,530t-CO ₂) |

生活スタイルを見直す
 地域エネルギーを導入する
 教育・学習で意識啓発する

省エネ
 創エネ
 まちエネ

町では、これまでの化石エネルギーに依存する社会から、地域資源を活かしたエネルギーの地産地消により、地球にやさしい循環型社会への移行と、災害に備えたまちづくりを目指し、鳩山町地域エネルギービジョンを平成26年7月に策定しました。

本ビジョンは、エネルギー問題と環境問題への意識を高め、地域全体で協働して取り組んでいくための指針となります。

循環型社会と災害に備えたまちづくりへ

私たちの生活は、日々多くのエネルギーを消費しています。そのエネルギー源は、枯渇が心配される石油などの化石資源に大きく依存しています。また、化石エネルギーの消費過程では、多くの温室効果ガスを発生し、地球温暖化の原因となっています。町では、こうした状況を踏まえ、地球にやさしい循環型社会への移行と、災害に備えたまちづくりを目指し、「鳩山町地域エネルギービジョン」を策定しました。

鳩山町地域エネルギービジョンの策定経緯

| | |
|-------------|------------------------------------|
| 平成 23 年 7 月 | 地域エネルギービジョン庁内検討委員会設置 |
| 平成 24 年 3 月 | 地域エネルギービジョン庁内検討委員会(全1回) |
| 6 月 | 地域エネルギービジョン専門委員会設置 |
| 10 月～ | 地域エネルギービジョン専門委員会(全4回) |
| 平成 25 年 3 月 | 専門委員会が「地域エネルギービジョン策定に向けた提言書」を町長へ提出 |
| 8 月 | 地域エネルギービジョン策定委員会設置 |
| 10 月～ | 地域エネルギービジョン策定委員会(全5回) |
| 平成 26 年 3 月 | 「地域エネルギービジョン(案)」を町長に提言 |
| 4 月 | 総合計画推進本部会議で検討 |
| 5 月 | 議員全員協議会で説明 |

地域エネルギービジョンでは、化石エネルギーの使用を抑

え、枯渇の心配がない太陽光など再生可能エネルギーを活用するなど、地域資源を活かしていく方針を示しています。

基礎調査に加え専門的、多角的な意見を反映

地域エネルギービジョンの策定にあたっては、平成23年度に、庁内検討委員会で本町の地域特性やエネルギー消費量の推計など、基礎調査を行い、さらに平成24年度には専門委員会が、基礎調査の検証と専門の見地から提言書を取りまとめ町長に提出しました。

そして、平成25年度には策定委員会が最終的に地域エネルギービジョン(案)を取りまと

鳩山町におけるエネルギーの消費量推計値(平成22年)

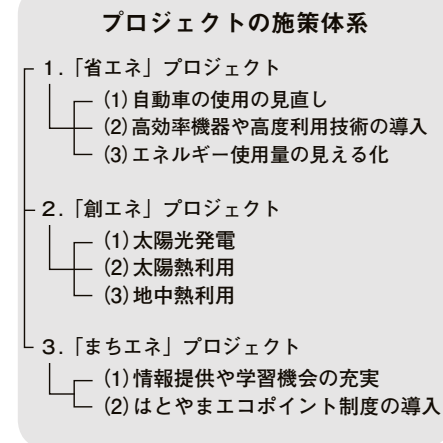
| | 電気 | 都市ガス | LPGガス | ガソリン | 灯油 | 計 |
|----------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|
| 固有値 | 59,634MWh | 1,370k ³ | 501t | 11,179k ^ℓ | 944k ^ℓ | — |
| 熱量換算値 | 214,681GJ | 61,648GJ | 25,160GJ | 386,801GJ | 32,727GJ | 722,818GJ |
| 熱量換算値割合 | 29.7% | 8.6% | 3.5% | 53.7% | 4.5% | 100.0% |
| 二酸化炭素排出量 | 22,303t-CO ₂ | 3,119t-CO ₂ | 1,504t-CO ₂ | 25,954t-CO ₂ | 2,220t-CO ₂ | 55,100t-CO ₂ |

※地域エネルギービジョン庁内検討委員会における推計値

※MWh=メガワットアワーの意で、1MWh=1,000kWh(キロワットアワー)。GJ=ギガジュールの意で、仕事量、熱量および電力量の単位で、ジュールの10⁹倍。k³=キロ立法メートル、t=トン、k^ℓ=キロリットル。
 t-CO₂=二酸化炭素トンの意で、炭素と酸素を含めた重量。

スマートコミュニティに向けた3大プロジェクト

地域エネルギービジョンでは、目指す将来像を「循環型で低炭素なスマートコミュニティの形成」としました。そのために、「二酸化炭素排出量の削減」を目標とし、平成22年の積算値を基準値として、平成32年に5割、平成42年に20割、平成52年に30割削減するよう、大きく3つのプロジェクトを掲げました。(下図参照)



※「鳩山町地域エネルギービジョン」は、町ホームページでご覧いただけます。

■問合せ：役場政策財政課 政策推進担当

☎ 296-1212

クリーンエネルギー自動車普及を進め、自動車の使用を見直します。また、防犯灯のLED化や水素を利用した燃料電池など、高効率機器や高度利用技術の積極的な導入を促していきます。同時に、発電モニターなど、エネルギー使用量の見える化を進めます。

二つ目は、地域エネルギーを導入する「創エネ」プロジェクトです。今年度中に旧地域下水処理場内に設置予定の太陽光発電システムや、平成26年3月に総合福祉センターに設置した太陽熱利用システムを、今後も積極的に活用していきます。また、

地中熱利用ヒートポンプの導入や、山林の間伐材などを燃料として有効活用することも検討していきます。

そして三つ目は、教育や学習により意識啓発する「まちエネ」プロジェクトです。多くの世代が参加できるイベントの開催、学習機会の提供などを進めていきます。また、二酸化炭素削減活動などにポイントを付与する「はとやまエコポイント制度」の導入も検討していきます。

今後は、これらのプロジェクトに、地域全体で協働して取り組んでいきたいと考えています。ご協力をお願いします。